

起業活動事例を紹介します・・・

	<p>産直とごはんとおやつ カフェ併設型直売所「農haco」</p> <p>所在地：東根市大字羽入1298 連絡先：0237-53-0215 営業時間：店 舗 10:00-16:00 ランチ 11:30-14:00 定休日：水曜日、第2日曜 代表者名（構成人数）：森谷佐栄子（4人）</p>
<p>セールスポイント（商品紹介など）</p> <p>○農産物産直所 地元農水産物のPRを積極的に行っており、こだわりの自家農産物に加えて、大富地区の綺麗な水で育てたわさびやニジマス加工品が並んでいる。</p> <p>○カフェスペース ここでしか食べられないものを提供したいという思いから、直売所に並ぶ野菜を中心に使ったランチは、地元農水産物の使用率80%を超えており、彩り鮮やかで、味は当然のことながら、目でも楽しむことが出来る。</p> <p>○ワークショップの開催 小麦アレルギーの方でも口に出来る「米粉菓子づくり」や田んぼから見える大空の下、稲株を感じながら行う「田んぼヨガ」など、親子連れで体験し、楽しむことが出来るワークショップも定期的に開催している。</p>	
 <p>魅力的な商品が多く並ぶ販売スペース</p>	 <p>地元食材を使った大富ライスバーガー</p>
<p>活動内容と特徴</p> <p>作る人、食べる人、農に関わる人が集まる箱になり、交流する（have a conversation）場所になって欲しいという思いから「農haco」と命名し、平成29年度より営業を開始。現在では、名前に込めた思いのとおり、0歳から90歳代までの幅広い年代の来店者が交流し、笑顔が絶えない場所になっており、来店者から寄贈された作品が店舗を彩るなど、店・来店者双方による店づくりにまで繋がっている。</p>	
<p>これからの抱負</p> <p>農業を通して、自然や食べ物の素晴らしさを知ってもらうため、農産加工活動においては、農産物の魅力を伝える新商品開発を続けると共に、下支えとなる安全安心な製品製造に心掛けていきたい。</p> <p>また、「農haco」来店者の裾野を拓げるためのワークショップは、コロナウィルス感染症の感染状況を見ながらバリエーションを増やし、多くの消費者に農にふれてもらう機会を設けていきたい。</p>	
<p>執筆担当：村山総合支庁産業経済部 北村山農業技術普及課 0237-47-8631</p>	